

■恵愛会 女性の活躍に関するインタビュー■
Vol.1 株式会社グローバル・スタッフ 高橋和美さん



“まずは一步踏み出して”

■自分の可能性に気付こう■

株式会社グローバル・スタッフ

高橋和美社長

主婦をターゲットとした人材派遣、人材紹介など、総合人材サービス会社

<http://www.global-staff.co.jp>

『女性が輝く未来を創る』という理念のもと、働くママにスポットをあて、成長を続けていらっしゃる株式会社グローバル・スタッフの高橋社長にお話を伺いました。

きっかけは一人の教師との出会い

(役員) 本日は、お忙しい中お時間いただきありがとうございます。早速ですが、高橋さんの経歴を教えてください。

(高橋さん) 子供の頃は全然目立たない、おとなしい子でした。姉と弟がいて二人ともちやほやされるから、昔からすごくいじけていたんです。どうせ私なんて見てくれてないって、ひがみ根性があったんです。だから、幼少時代から、「自分の存在ってなんだろう」とモヤモヤしていました。
中学時代も自分が大嫌いで、人生で一番モヤモヤしていたと思います。

そんな時、すごくいい先生に出会いました。女性の体育の先生です。
その先生が、これからの女性は子育てだけでなく、自分自身のやりがいを探していけないといけなかったんです。子供はある日巣立ってしまうから。生きがいを見つけられるような人生を送った方が良く教えてくれました。
その先生に出会って、私、こういう生き方に共感できたと思ったんです。

なので、高校で地元岐阜から名古屋に出てきて、短大に行き、海外留学もしました。フィルムメーカーになりたいと思っていたので、向こうではハリウッド映画のエキストラも経験しました。
絶対映画のビジネスに関わるぞ！と思って帰国しましたが、就職先がなかったんです。
インターネットで探して、東京のテレビ局の子会社がスタッフ募集をしていて、約1年、日本テレビのADをやっていました。健康番組のADをやっていたのですが、きつくて耐えられなくなってやめてしまったんです。

その後いろいろと履歴書を送ったんですが、どこもダメでした。
地元に戻って、何やろうかなと思った時、女性の活躍に関してモヤモヤとしていたので、そういう人を応援できる仕事がないかなと考えたんです。
当時、派遣がものすごく伸びていて、派遣会社っていいなと思ったんです。すぐに派遣会社に電話したら採用してくれた会社があり、そこで1年お世話になりました。
そこで得たノウハウを元に、自分でやっちゃおう！と始めたのが17年前です。

(役員) 会社を作る時、躊躇や怖さはなかったんですか？

(高橋さん) 若かったから何も怖くなかったです。今思うと怖いですね。

トラブルもいっぱいあって、追い込まれることもありました。

だいたい3年に1回はドカンと大きいのがきました。最近はずすかに慎重なので、少なくなりましたけどね。

行動力だけは半端なくありました。

(役員) 大きいことを始めるっていうのは、それぐらいじゃないと難しいかもしれないですね。

(高橋さん) 知識がありすぎたり、頭が良すぎると、リスクとか考えちゃいますよね。

なので、始めるなら、若いうちにやっちゃう方が面白いかなと思ったりします。正解かはわかりませんが。

女性の埋もれていた力を企業に

(役員) 会社のことを教えてください。

(高橋さん) 女性が輝く未来を創るという理念を掲げてやっています。ターゲットは主に主婦の方々です。

少子高齢化で労働人口が減る中、誰が活躍できるかと考えたら、主婦という答えが出ました。

子育てや家事って、どちらかというと女性がメインでやっていて、ライフステージにおける選択肢って、

女性の方が色々な問題を抱えてしまうと思うんです。でもそれを覆すって難しいですね。世の中の意識を変えることだから。

じゃあどうやって変えようかと思った時、無理せずその人の価値観を否定せず、その人の考えを反映できる仕事をすれば良いと思いました。

子育てや家事をやりつつ、私自分の能力や経験でできる仕事があればやりたい、という方を集客して、企業にマッチングしています。

今までは主婦の価値そのものより企業の方が圧倒的に人を選べた時代がありました。

早く帰っていいかわりに、こちらの希望時給でここまでやっというて…みたいな。

でも今は少しづつ変わってきています。

私たちも、お伺い営業だったのが、今は、「こんな価値の高い人がいます。こんな風に生かしませんか？」というアドバイスさせて頂くスタンスに変わってきました。

名古屋は東京に比べて、全然進んでいません。だからこそ開拓の余地があります。

眠っている労働力を企業に紹介すれば、必ず企業の生産性を上げることができると思っています。

(役員) 企業は主婦の持っているスキルは欲しいですね。でもやっぱり時間にはシビアで、

例えば子どもの病気で休んでしまう、というようなことに、企業はどう思っているんでしょうか。

(高橋さん) 大手企業の一部や賢い企業は気付いてると思います。主婦の価値が上がっていることに。

そういう企業は受け皿を持っているので、直接主婦を雇ってるケースもあります。

私たちは、まだそういった雇用を進めていない企業に主婦の価値をお伝えし、企業側のメリットと一緒に考えます。

気付いてくれた企業さんは、じゃあ直接は難しいから一回お願いしようかな、という形で、徐々に間口が広がっていきます。

仕事楽しい

(役員) 起業してよかったことはありますか。

(高橋さん) チームでやりたいと思っていたので、今、人に恵まれていいチームでやれているのが嬉しいです。

器用な人なら起業して一人でなんでもできちゃいますが、私は不器用なのでできないんです。

それぞれ人のいいところを生かして、チームでできているのはすごく良いことだと思っています。

会社という組織を通して、普段は会わないような人と会えたり、一緒に戦える仲間ができたことが嬉しいです。

会社を通して、企業や人と、社会を通して信頼関係が築けることも良いです。

そして、そのおかげで成長させてもらったと思っています。

（役員）女性が経営者として働く、起業するメリットはあると思いますか？

（高橋さん）一言でしか言えないんですが、「楽しい」ですね。

経営者じゃないと見れない視点とか、出会えない人ってすごくたくさんいる。人生死ぬまで勉強なんだろうなと思っています。私まだこんなところにいるって思う一方、次にこういう人と出会ってまた成長できると思うと、とっても楽しいです。

（役員）仕事を楽しんで、一番良いことですね。高橋さんにはお子さんもいますいらっしゃるんですよね？

（高橋さん）私は夫も経営者なので、本当にフェアじゃないといけないと常に夫にうたがっているんです（笑）。

でも、やっぱり固定観念はありますよね。

昔は、子育ても家事も私がやらないといけないという、罪悪感があったのですが、年々薄れてきています。

昔は罪悪感のあまり感情的になって言っていたことが、今は優しく言えるようになって、そしたら夫も聞いてくれるようになったんです。今では娘の送りはやってもらっています。冷静に言えば良いんだと気付きました。

（役員）女性が旦那さんや子供に罪悪感を感じるから、仕事をセーブするっていうのは、ある種のハードルですね。

その概念を取っ払えば、もっと女性が活躍できると思うのですが。

（高橋さん）私の年代はロールモデルがいなかったんで、常に方法を探しながら、考えながら働いていました。

女性経営者、働き方、生きがいのロールモデルがあれば、みんな羽ばたけますよね。

（役員）やってみようと思えますね。やりたくてもやれない、と思っている人多いと思います。スキルがあるにもかかわらず。

（高橋さん）そうなんです。そういう人、たくさんいると思います。

ぜひ一歩踏み出してほしい

（役員）日本の女性にどう活躍して欲しいと思っていますか？

（高橋さん）自分の可能性に気づけるきっかけを探して欲しいなと思います。みんな良いところがあるんです。

ダメなところを見ているとキリがない。

固定概念を取っ払えるようなきっかけが必要ですよね。人との出会いもその一つだし、恵愛会の様な会も、すごく有意義ですよね。

（役員）普段家にいたら、きっかけってないですよね。

（高橋さん）ないですね。まずは一歩外に出ないと。うちのメンバー（社員）は全員ママや既婚者なので

育休・産休の問題や、家事育児を経験しているからこそ、同じ目線でキャリアコンサルできるというのが強みでもあるんです。

まずは悩みをヒアリングするところから始まって、そこからその人の良さや可能性、キャリアについて一緒に考えアドバイスする事ができたら良いなと思っています。

■インタビューで感じたこと■

女性には、結婚・妊娠・出産など特有のライフステージがあります。

それまで築いてきたものを手放したりしないといけないこともあると思います。

一度、仕事を離れてしまうと、復帰には様々な困難が待ち受けており、

断念せざるを得ない方もたくさんいると思います。

今回、高橋社長とお話させていただき、女性ならではの視点で

そういう女性も活躍できる場が開かれてきており、

企業も必要としている時代の流れを改めて感じました。

女性ばかりの金城生が、直面することの多い問題にヒントをくれた高橋社長へのインタビューは、恵愛会第一回企業インタビューにふさわしいものだったと思います。



こちらのインタビューに関するお問い合わせ・感想等は、kinjo.keiaikai@gmail.co.jp までどうぞ。